



ゆたかっ子

ゆめに向かって たくましく かしく生きる ゆたかっ子

学校だより⑦ 9月号2
(令和6年9月12日発行)
発行責任者
豊見城市立ゆたか小学校
校長 上原義仁



今回は、8月の出来事2件と学校経営に関する情報、保護者の皆様へのお願い等を記載します。



豊見城中学校ALT (外国語指導助手)

8月26日から一週間、豊見城中学校ALT (外国語指導助手) のメロ先生が、本校1～6年生の外国語 (英語) の授業に参加してくださいました。児童は、本場の発音に触れたり、外国の文化を知ったりする良い機会となりました。



FC琉球 朝のあいさつ運動

8月30日 (金) 元プロサッカー選手で現FC琉球スタッフの上原慎也さんとFC琉球のマスコット ジンベーニョが朝のあいさつ運動に参加しました。2人(?)とも子どもたちに大人気でした。



学年担任制 (チーム担任制) 7月アンケート結果 (5、6年生)

本年度、5・6年生で学年担任制 (チーム担任制) を行っています。

1学期前半終了の節目にあたり、児童・保護者にアンケートを実施しました。その結果 (概要) をお知らせします。

児童 (回答186名)

良い	35.5%
まあまあ良い	29.0%
どちらでもない	25.3%
あまり良くない	4.8%
良くない	5.4%

保護者 (回答56名)

良い	17.9%
まあまあ良い	19.6%
どちらでもない	37.5%
あまり良くない	19.6%
良くない	5.4%

<記述意見 (良いこと、良くないこと、気になること) より>

○いろいろな先生と関わることができる。
○相談しやすい先生に相談することができる。
○先生によって授業の仕方が違うからいい。
○ (多くの先生が) 名前を覚えてくれる。
△先生によって授業の仕方が違うからやりづらい。
△こんがらがう。ごちゃごちゃする。
△先生によって言うことが違うことがある。

<記述意見 (良いこと、良くないこと、気になること) より>

○面談で、ひとり一人の児童を各方面で見ていると感じた。
○チームで見ているので安心感がある。
△面談で、子どもの様子をあまり聞けなかった。
△子どもが落ち着かない。課題がある子には不安が大きい。
・現段階では評価できない。

<実施方法の一部変更について>

これまで・・・○学級数+1名 (5年生: 4名、6年生: 5名) で学年担任団を構成する。
これから・・・○学級数と同じ数の職員 (5年生: 3名、6年生: 4名) で学年担任団を構成し、+1名 (5年生: 音楽専科□□先生、6年生: 外国語専科□□先生) がサポートメンバーとなる。

職員の異動 (転勤、育児休暇取得、復帰、着任) のお知らせ

4年4組担任 [7月まで] 石□□先生 (□□小学校へ) → [8月から] 小□□先生 (育児休暇より復帰)
5年生担任 [7月まで] 宮□□先生 (□□小学校へ) → [8月から] 奥□□先生 (育児休暇より復帰)
6年生担任 [7月まで] 儀□□先生 (育児休暇取得) → [8月から] (未配置)

※6年生担任は10月より配置予定。それまでは、サポートメンバーの奥□□先生が担任団の一員となります。

本校の教育について① (めざす児童像「自ら 考え 判断し、行動する」)



Society5.0という言葉があります。人類誕生後の「狩猟社会」(Society1.0)から始まって、これからの社会(Society5.0)は「超スマート社会」とも「創造社会」とも言われます。

このような社会を生きる子どもたちにとって大事なものは、**主体性や、決まった答えがない中で「最適解」を導き出す力**だと言われています。

このような状況を踏まえ、本校では、めざす児童像を「**自ら考え判断し行動する児童**」とし、本校の考える「自ら考え判断し行動する児童」を「**自他を尊重し、得られた情報を比較・整理し、最適解を導き出すことができる児童**」と定義しました。具体的には、

- **自他を尊重**・・・**自分を肯定する(自己肯定感)**、**自分の意見や考えを持つ**、**他者を肯定し考えを尊重する**
- **情報を比較整理**・・・**自他の意見や考え、周りの状況、さまざまな情報を比較・整理(よく吟味)し**
- **最適解を見いだす**・・・**根拠を持って、自分なりの最適解を見いだす、行動する**としました。

学校では、上記をめざして、児童が考える機会や主体性を発揮できる場面を増やしていきたいと考えています。

<参考> (下記をクリックまたはタップすると、資料をご覧になることができます)

[令和6年度 学校経営グランドデザイン](#) [令和6年4月28日実施 学校経営説明会資料](#)

保護者の皆様へお願い・・・例えば児童が忘れ物をしたときに・・・

上記に記載したとおり、児童には、自分で考えて行動できる人に育ってほしいと思います。

例えば、忘れ物をしたときは自分で考えて行動できる人へ成長するチャンスだと捉えることができます。

これから生活していく中で、どんなに念入りに準備しても忘れ物をしてしまうことがあります。その時に大事なものは、そこから自分で考えてどう対応するかと言うことです。忘れ物をする経験(困る経験)は、考える力を身につける機会となるかもしれません。

そこで、保護者の皆様へお願いします。

児童が忘れものをしたときに、**忘れた物を届けるのを控えていただければ**と思います。

学校では、そのときにどうすればいいか児童に考えさせたり、一緒に考えてあげたりしたいと思います。時には、活動等をできない場合があるかもしれませんが、大きな視点で考えれば、困った経験を児童の成長につなげる大切な機会になるのではないかと考えています。

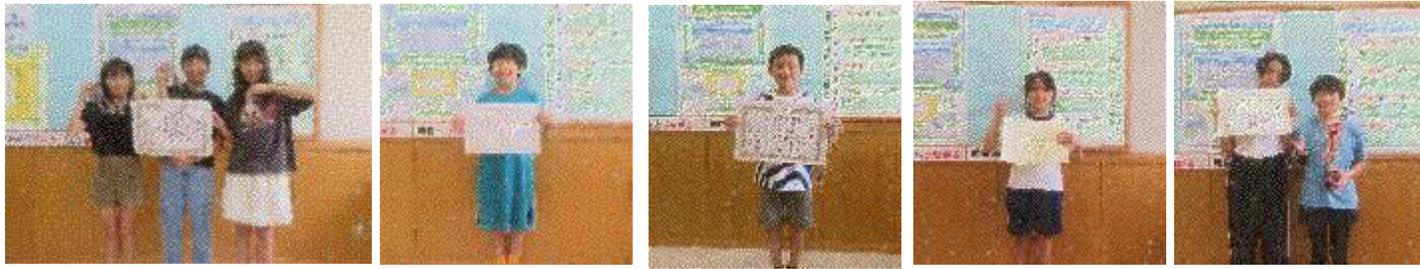
ゆたか小学校児童 活躍報告！！

8月は、2名と3チームが校長室に報告に来てくれました。(敬称略)

- 豊見城団地クラブ・・・島尻地区小学生バレーボール5年生以下大会 女子Aブロック [3位]
- 城□□□・・・沖縄珠算選手権大会読上暗算競技3・4年生の部 [2位]
- 宇栄原FC(真□□□)・・・琉球新報児童オリンピックサッカー競技U-10 [3位]
- 我□□□・・・全国珠算教育連盟珠算検定試験2級 [合格]
- 宇栄原朝日・・・琉球新報児童オリンピックバレーボール競技 [3位]

※ 9月に報告に来た児童は、今後発行する学校だよりで紹介します。

おめでとう！！



じどうのみなさん。しょうじょうをもらうなどのかつやくをしたら、こうちょうしつにきて、おしえてね。

カラー版を学校webサイトに掲載しています。(個人情報保護のため、一部加工しています。)

学校ホームページまたはこちらよりどうぞ→

